

本特集では、病棟で働く医師が「病棟管理」において知っておくべきスタンダードな知識をまとめます。

Part 1「個の力」では、個々の医師が病棟管理を行う際に身につけるべき能力について取り上げます。Part 2では、内科入院管理を行う組織がどのようなことをしているか、「組織・チームの力」を養うために必要なことを取り上げます。具体的にどのように患者に対して診療を行い、どのようにグループとして、チームとして進化していくかを提示します。Part 3では「病院レベルでのシステム改善に向けて取り組むべきトピック」について、病棟管理医によりすでに病院や社会にもたらされている恩恵を、海外の実例も含めて述べ、病院や社会、さらには国の規模で病棟管理医による体制を発展させていく意義について考えていただく構成となっています。

総合内科、総合診療科の医師はもちろん、病棟管理にかかわるすべての読者に医療の質を高めるマネジメントの全体像を提示し、「強い病院」「質の高い医療の実現」といった目標につながる考え方や実践をお示しします。

Part 1 病棟で働く医師が身につけるべき基本姿勢

1. 病棟でのリーダーシップ：リーダーと呼ばれる人はどんな働き方をしているか
2. 病棟での教育はどのように行うか
3. 病棟医のプロフェッショナリズム
4. 病棟でEBMを実践するということはどういうことか

【コラム①】日々の学習を助ける情報管理

【コラム②】病棟で働く医師のタイムマネジメント

Part 2 病棟での業務の実践

5. チームアプローチの理論と病棟での実践
6. 病棟での合併症予防
7. 病棟管理でコンサルテーションとコマネジメントをどう行うか
8. 病棟でのサインアウト
9. 患者への教育はどう行うか
10. 病院内および退院時のケア移行

【コラム③】米国におけるホスピタリストの現状

座談会 | メディカルスタッフからみた病棟管理医

Part 3 病院に与える医療経済および医療の質・患者安全への影響

11. 病棟での医療の質改善
12. 病棟医が医療経済へ与える影響
13. 病棟での患者安全のためのシステムをどう作るか
14. 患者経験PXをどう測るか
15. 病棟でのリスク管理

【コラム④】キャリアデザイン「病院経営・管理を意識してどのように働けるか」

※誌面の都合により、内容が変わることがあります。

● BackNumber

■ Vol.1 (2013年)	No.3 感染症2
No.1 ホスピタリスト宣言	No.4 老年科
No.2 感染症	■ Vol.6 (2018年)
■ Vol.2 (2014年)	No.1 腎疾患2
No.1 腎疾患	No.2 糖尿病
No.2 膠原病	No.3 肝胆脾
No.3 消化管疾患	No.4 心不全
No.4 緩和ケア	■ Vol.7 (2019年)
■ Vol.3 (2015年)	No.1 外来マネジメント
No.1 呼吸器疾患1	No.2 総合内科のための集中治療
No.2 外来における予防医療	No.3 抗血小板薬、抗凝固薬のすべて
No.3 循環器疾患1	No.4 内科エマージェンシー
No.4 血液疾患	■ Vol.8 (2020年)
■ Vol.4 (2016年)	No.1 アレルギー
No.1 代謝内分泌	No.2 画像診断①胸部・縦隔編
No.2 周術期マネジメント	■ Vol.9 (2021年)
No.3 腫瘍	No.1 膠原病2
No.4 他科の知識1	No.2 内分泌2
■ Vol.5 (2017年)	
No.1 神経内科	
No.2 呼吸器疾患2	

このところの刊行遅れにつきまして、お詫び申し上げます。本特集では、単なる手技の解説書ではなくできるだけエビデンスを重視、という企画趣旨のもと、充実のボリュームとなりました。お待たせしましたが、ぜひ座右において読み込んでいただけたら幸いです。さて、姉妹誌INTENSIVISTの最新号は、創刊から10年の節目でもあり「集中治療の今と未来」特集です。座談会「日本の集中治療の未来を語り合う」では、医療全体にかかわる包括的な問題からキャリアプランまで、広範にキーワード・課題が挙がりました。なかでも（集中治療医には）「選手的な側面」と「コーチ・監督的な側面」が、それぞれのステージに応じて要求され、ときには両方同時に要求される、というご指摘は、ホスピタリストにもあてはまる側面の1つではないでしょうか。次号は、「病棟管理」の今を横断的にとらえ、ホスピタリストのこの先を展望していくきっかけとなるような特集となればと思います。

● 広告一覧

金原出版…552
医学書院…578, 579
ナースあい…i, 406
日本医事新報…510
羊土社…553

Vol.8 No.3 2020年9月1日発行〔年4回（3, 6, 9, 12月1日）発行〕

Hospitalist

(1部) 定価：本体4,600円＋税
2020年年間購読料：19,360円（4冊、税込、送料弊社負担）

発行者 金子 浩平

発行所 株式会社 メディカル・サイエンス・インターナショナル
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36
電話：編集部 03-5804-6056 FAX：編集部 03-5804-6054
販売部 03-5804-6051 販売部 03-5804-6055
URL：http://www.medsico.jp Eメール：hospitalist@medsico.jp
振替：東京 7-28572

印刷所 横山印刷株式会社 電話03-3622-6161
広告取扱 メディカルブレーン 電話03-3814-5980
日本医学広告社 電話03-5226-2791
文京メディカル 電話03-3817-8036
福田商店広告部 電話06-6231-2773

ISBN 978-4-8157-0084-3

本誌の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）メディカル・サイエンス・インターナショナルが保有します。本書を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。